

国体での活躍を報告

～天草高校天草西校・ウエイトリフティング部～

新潟県で行われた第64回国民体育大会（トキめき新潟国体）のウエイトリフティング競技に出場した、天草高校天草西校・ウエイトリフティング部で、3年生の高原康幸さんら選手3人が10月15日、入賞報告に市役所を訪れました。高原さんは、少年男子77kg級クリーン&ジャーク種目で優勝し、選抜大会・全国高校総体に続き3冠を達成。また、同種目の85kg級で田原成也さんが4位、56kg級で山田裕矢さんが6位にそれぞれ入賞しました。



▲右から野田・同部顧問、安田市長、高原さん、田原さん、山田さん、平野校長

秋晴れの空の日を楽しむ

～空の日フェスタ～

9月19日、「空の日フェスタin天草空港2009」が同空港で開催され、多くの家族連れなどでにぎわいました。

これは、同20日の“空の日”にあわせて毎年実施しているもの。会場では、空港内を巡るバスツアーやヘリコプターの展示のほか、パイロットなどの制服を試着することができる“なりきりコーナー”を設置。パイロットや客室乗務員の制服に身を包んだ子どもたちは、服の感触を確かめたり、誇らしげにポーズを決めたりして楽しんでいました。



▲どう？似合っているでしょ？

若返りの秘けつなどを学ぶ

～市健康づくり講演会～

10月16日、「天草市健康づくり講演会」が天草市民センターで行われ、さわやか大学生など約450人が参加しました。これは、運動習慣を身に付け、健康的で楽しく充実した毎日を過ごすために必要な運動を学ぶために実施したものです。『あなたの体は若返る！～筋力アップで健康アップ～』と題して、筑波大学大学院准教授の久野譜也氏が講演。久野氏は科学的根拠に基づき、「運動の効果は貯金が効かないので続けることが必要」などと話されました。



▲「健康は個人の問題ではない」と語る久野氏

海のお花畑で散歩をしませんか

～海中展望船・サブマリン号運行再開～

9月19日、海中展望船“サブマリン号”の運行が、牛深町で再開されました。これは、利用客の減少で昨年11月から運休していた同船を、地域住民らで設立した会社「ブルーマリンサービス」が業務を引き継いだことで実現。国内初の国指定海中公園である“牛深海中公園”を遊覧するサブマリン号は、船底の両面などにあるガラス窓から、透明度の高い海や海中に生息する熱帯魚やサンゴ礁などを見ることができます。皆さん、ぜひご利用ください。



▲運行を再開するサブマリン号

田舎の原風景や暮らしを体感！

9/29・30、10/10・11
五和

～五和版・暮らし体験モニターツアー～

五和ツーリズムネットワークでは、五和地区の海や山を巡りながら、暮らしや文化などを体験する1泊2日のモニターツアーを9月29・30日、10月10・11日に開催しました。ツアーには、旅行者や観光団体などの11人が参加。釣った魚の漁協への水揚げ作業や太古の塩作りなどのほか、民泊や歴史散策、収穫したみかんを使ったジュース作りなどを体験しました。今後は、モニターの意見を参考に、ツアーの本格開始に向けて準備を進める予定です。



▲慣れない手つきで干シダコ作りに挑む参加者

交流を深め「笑顔」も大漁！！

10/3
天草

～天草西ブロックふれあいいきいきサロン交流大会～

10月3日、牛深・河浦・天草地区で活動している高齢者サロンの交流大会が、天草勤労者体育館で開催され、地区内36サロンの会員や中学生など、約360人が参加しました。市社会福祉協議会主催で、今年で3回目。大会では、輪投げや魚釣りレースなどのレクリエーションのほか、ユーモアたっぷりの寸劇や踊りなど、和気あいあいの中で実施。今回初めて参加した人は、「こんなに楽しいとは思わなかった。次回もぜひ参加したい」と話していました。



▲大物釣りにスタッフも熱いまなざし

スポーツの祭典に町民集結！

10/10
御所浦

～第33回町民体育祭～

10月10日、御所浦小学校グラウンドで「第33回町民体育祭」が開催されました。これは、御所浦まちづくり協議会が、町民どうしの親睦を深めるため2年に1度行っているもので、町内の5地区対抗で実施。巧み競走やリレーのほか、参加者が相撲の力士にふんする仮装行列など28種目で熱戦が繰り広げられ、観客からは盛んな声援と拍手が送られていました。最後は参加者全員で御所浦音頭を踊り、楽しい1日を過ごしました。



▲コンテナ運びリレー。観客もハラハラドキドキ！

国の伝統的工芸品の魅力にふれる

10/9～13
天草

～天草西海岸陶芸まつり～

10月9日から13日まで、「天草西海岸陶芸まつり」が天草町と天草郡苓北町の窯元など11会場で開催されました。今回で21回目を迎えたこのまつりには、期間中多くの陶磁器ファンが来場し、国の伝統的工芸品の魅力を堪能していました。また、一部の会場では、専用の皿にお気に入りの絵を描き、オリジナルの皿を作ることができる“絵付け体験”を実施。体験した人たちは、思いおもいの絵を真剣なまなざしで描いていました。



▲真剣なまなざしで絵付けを行う参加者